

## 全県研究大会開催要項

辰野町立辰野西小学校

- 一 期日 令和6年11月22日（金）  
二 会場 辰野町立辰野西小学校（電話 0266-41-0383）  
三 日程

- 1 受付（正面玄関） 13:10～13:30  
2 開会式（大会議室） 13:35～13:45

- (1) 開式の言葉  
(2) 主催者挨拶 信濃教育会研究調査部 松嶋 則行 様  
(3) 辰野町教育委員会挨拶 辰野町教育委員会 教育長 宮澤 和徳 様  
(4) 諸連絡  
(5) 閉式の言葉

- 3 研究の説明（大会議室） 研究主任 村澤 陽介 13:45～13:55

- 4 授業公開 14:05～14:50

教科	単元名（予定）	授業学級	授業者	会場
国語	お話のさくしゃになろう	2年知組	栗屋 裕子	2年知組教室
体育	マット運動	4年知組	柴 哲也	あおぞら体育館
外国語	Let's go to the zoo	5年知組	渡邊 成樹	外国語教室
道徳	健太の役割	5年仁組	上柳 智寛	5年仁組教室
算数	データの整理と活用	6年知組	齋竹 優希	6年知組教室
図工	言葉から想像を広げて	6年仁組	大槻 潤	図工室

- 5 授業者との懇談（大会議室） 15:00～15:30

- ・ 参観していただいた授業や日頃の実践について、グループで懇談できればと考えます。  
・ 詳細については、参加者人数により、当日お知らせいたします。

- 6 ワークショップ・講演（大会議室） 15:30～16:30

- 共同研究者：信州大学助教授 宮野 尚 先生  
演 題：「子どもと教師の主体性について考える」

- 7 閉会式（大会議室） 16:30～16:40

- (1) 開式の言葉  
(2) 学校長挨拶 辰野西小学校長 袖山 秀明  
(3) 諸連絡  
(4) 閉式の言葉

### 四 その他 先生方へのお願い

- 1 持参品  
① 飲み物（各自でお願いします） ② 上履き  
2 信教役員の皆様をはじめ一般参会者の先生方の入口はすべて、正面玄関となります。下足箱または下足置き場をご利用ください。  
3 駐車場は、JA 駐車場を借りていきますのでご利用ください。（別紙参照）なお、校舎前（正面玄関前）は、ご来賓・共同研究者の先生方の駐車場となります。  
4 別紙の案内図を参照の上、ご来校ください。

# 辰野西小学校案内図（一般参会者用）

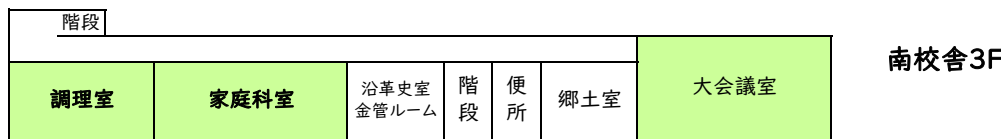
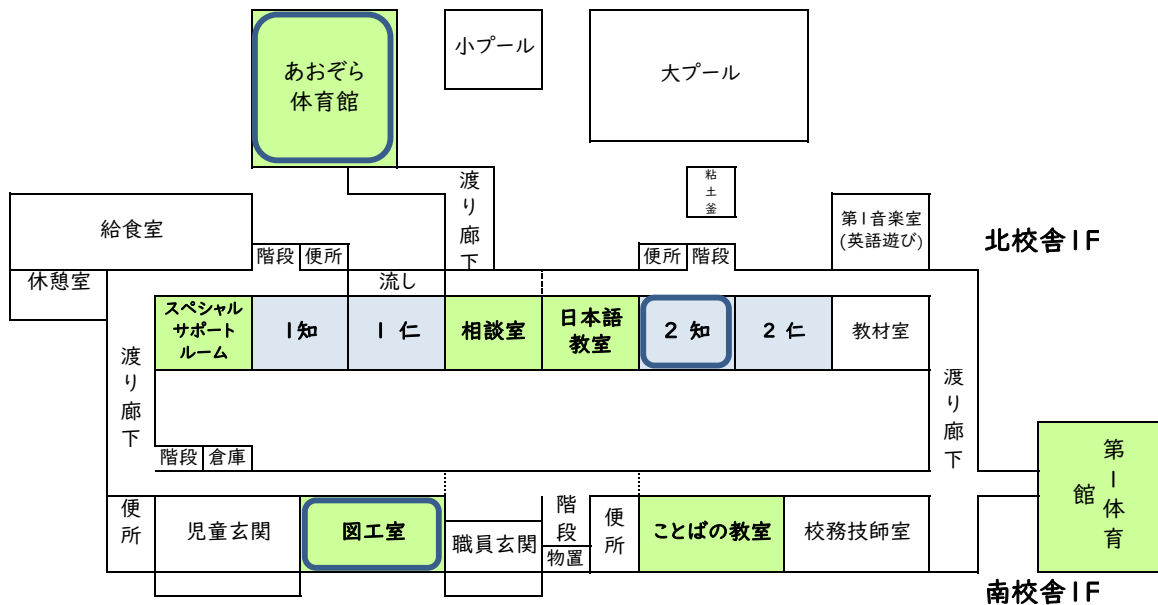
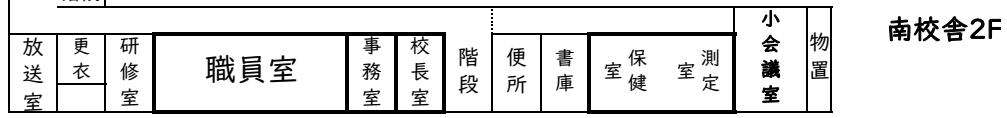
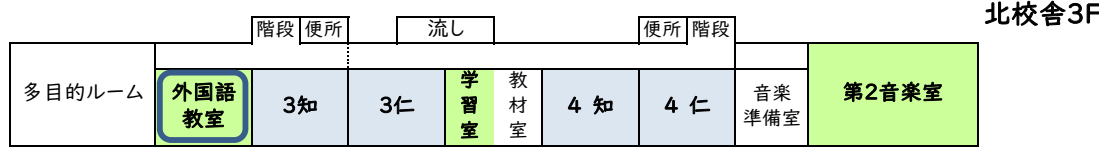
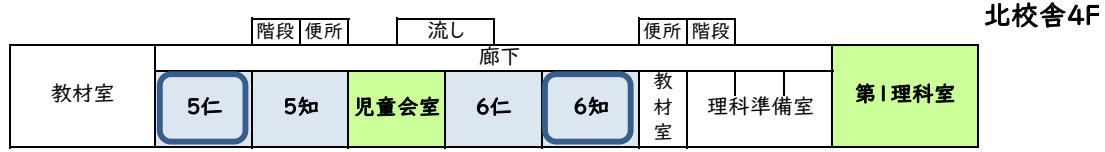
## 駐車場は…

J Aと虹のホールの間の細い道を入り、奥の右手駐車場か、J A駐車場にお停めください。下の図 **P** の場所です。校門入って右手にもありますが、駐車スペースが狭いので、ご協力をお願いいたします。



# 令和6年度 校舎配置図

辰野西小学校



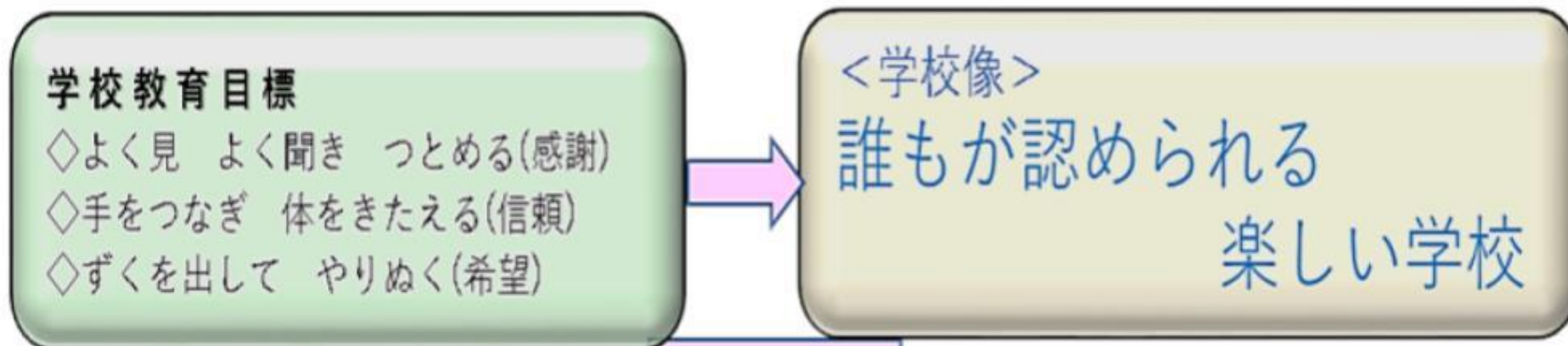
# 信教全県大会

生き生きと自ら考えを伝え合う認め合う子ども  
～教師の主体性が子どもの主体性につながる研究推進から～



令和6年11月22日(金)  
辰野西小学校

# 1. 学校教育目標と研究テーマの関わり



<子ども像> 意欲的・主体的に活動する子

追究する子

思いやる子

健康な子

研究における目指す子どもの姿(研究テーマ)  
生き生きと自ら考えを伝え合う認め合う子ども

サブテーマ  
教師の主体性が子どもの主体性につながる研究推進から  
(教師も子どもも共に動き出す)

## 2. 研究テーマの具体と研究内容

研究における目指す子どもの姿(研究テーマ)

**生き生き**と自ら考えを伝え合う認め合う子ども

本校における「生き生き」とは...

- ・その時間の「ねらい」「ふり返り」が位置づいている(自己調整)
- ・「頭フル回転」に追究できる活動がある(粘り強さの発揮)

**「主体的に取り組む態度」の育成と同義**

子どもたちが本時・本単元のねらいを自覚・目的意識化するための手立て(評価・子どもの見取りなども含む)

「子どもの生き生き」を生み出す手立て

子どもたちが頭フル回転に追究できる題材・教材研究

「授業ミーティング」の個人研究において、教師一人ひとりの興味関心・個人の希望・ペースにあった研究・研修を積み重ねていく研究推進

「教師」の主体性を生み出す研究推進

教師と子どもが共に動き出す

意欲的・主体的に活動する子

誰もが認められる楽しい学校

### 3. 研究内容(1)「教師の主体性が子どもの主体性につながる」 「教師も子どもも共に動き出す」のイメージ

#### 【子どもの主体性の共有】

◎子どもたちが大切にしたい「生き生き」とした姿...

**意欲的・主体的な姿!**

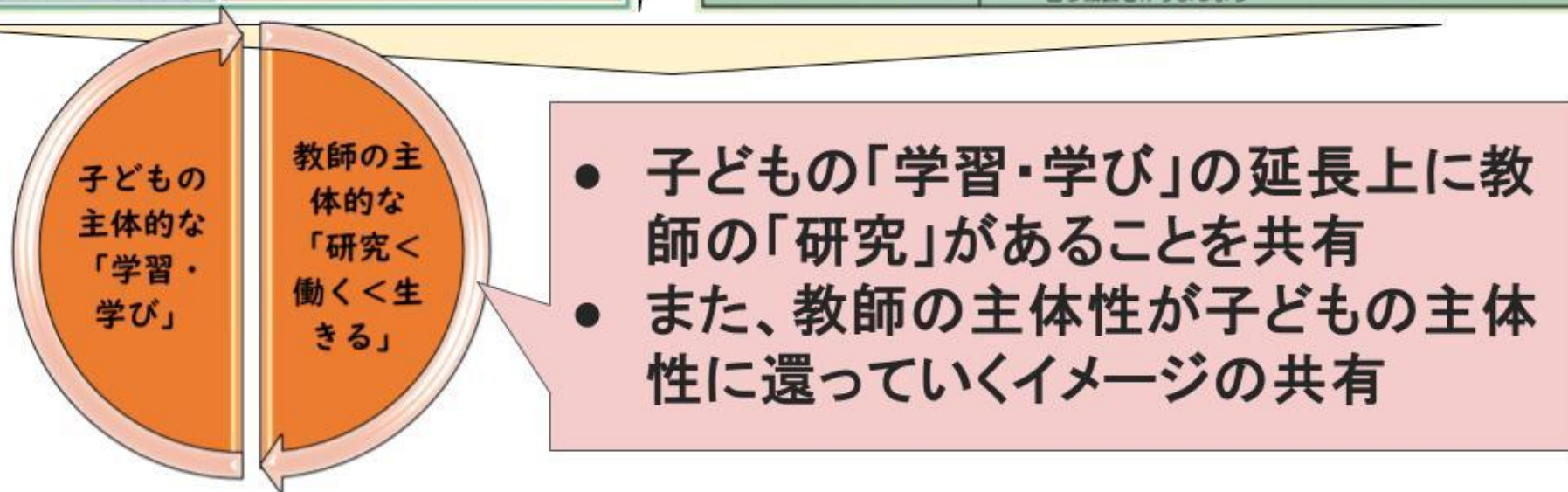
<b>学習の自己調整</b>	<b>楽しさの実感</b>
<b>対話的な活動 学習の実感</b>	<b>粘り強さの実感</b>
	<b>協働的な活動</b>

#### 【教師の主体性の共有】

【要確認】

☆授業ミーティング(本校の研究推進)はあくまで、先生方の主体性によって推進される研究です。  
☆子どもたちに願う学び(学び方)＝私たちの研究と捉え、主体的に取り組みましょう!

<p>【子どもに求める主体性の例】</p> <p>例①：分からなかったら進んで聞こう! 分からない人がいたら教えてあげよう!</p> <p>例②：いろんな人と交流して考えを深めよう!</p> <p>例③：やりたいことは友だちに聞きながら進んで取り組もう!</p> <p>例④：失敗を恐れず進んで自分の考えを言おう、発表しよう!</p>	<p>【先生方の研究も…】</p> <p>例①：他グループの研究が気になる・手伝いたい ⇒自グループの研究をストップし、他グループに参加しちゃいましょう!</p> <p>例②：自グループだけでなく他の先生方の意見も聞きたい ⇒他グループのグループリーダーまたは研究主任にご相談ください!</p> <p>例③：授業づくりを行いたいけど、どう進めて良いか分からない ⇒研究主任または、お近くの先生に気軽にお聞きください!</p> <p>例④：授業公開したいけど… ⇒公開に向けた授業づくりや研究が力になります。失敗・恥ずかしさを恐れず、進んで授業づくり・授業公開を行いましょう! ⇒日常的に授業を見合う気風を大切に、空き時間などに気軽に見合う機会を作りましょう</p>
---	--



### 3. 研究内容(2)教師の主体性を生み出す研究推進

#### 教師の「主体的・対話的で深い学び」が生まれる授業ミーティング

【個人研究を支える研究の方向性の共有】

- 「カリキュラム・マネジメント」の視点を大切にした校内研究・学校運営についての研修
- ICTの活用事例報告研修

#### 個人研究テーマの推進

教師の必要感で実施する小グループによる協働研究  
～「生き生き」として追究は教師から～

【個人研究を共有する・深める】

- 研修推進便り「主葉子」による情報共有
- 教師の主体性を大切にした全校研究授業・主事派遣授業公開
- 信教全県大会での授業公開  
(教師の自主的な研究発表の場)
- 初任研示範授業を兼ねた授業公開・「小さじ一杯の工夫」授業の推進

お名前	個人研究テーマ	信教全県大会 発表	主事派遣	会場
松井ちはる	子どもたちのおもいから生まれた活動を展開していくための教師のかかわり方はどうすればいいか。		12/19	研修室
☆福田 弘彦	「くり返し」の活動をとおして自らの歩み(やり口)を見返しながら高まっていく子どもの学びの道すじ	12/19		
森竹 優希	子どもの「やりたい」を実現する授業づくり		12/19	
横山 華	信教全県の授業者と学ぶ		12/19	
☆有賀 歩	自己肯定感が低く、学習に対する苦手意識が強い児童が意欲的に学習するようになる支援とは		12/19	ほっとルーム
仁科 澄子	新しいことには不安でいっぱいになってしまう子どもが、少しずつでも学びを進めていくためにはどのような手立てが有効であるか。		12/19	
宮澤和可奈	特別支援の基礎基本	12/19	12/19	
北澤 祐史	どの子ども生き生きと授業に取り組める。褒め方・対応の仕方・認め方 特になegティブ行動をする子どもがやる気をだす。褒め方・対応の仕方・認め方		12/19	
鈴木 智香	児童が一人一人が持つやさしい気持ちを引き出すことでお互いに認め合う子どもを育成する		12/19	
大根 潤	意欲的に取り組みながら、より追究を深めることができる工夫のあり方	12/19	12/19	小会議室
常田 理恵	子どもたち一人ひとりにとって音楽の楽しさや魅力を感じられる教材や授業		12/19	
☆柴 哲也	1年生の子どもたちが自ら動きたくなる声かけやICTの活用方法	12/19		家庭科室
雨宮 隆斗			12/19	
☆渡邊 成樹	子どもと子どもをつなぐ橋渡し	12/19		
林 由美	子供たちが自分の考えを持ち、発表し合い、深めていくような授業への指導の在り方		12/19	
上柳 智寛	子どもたちが話し出したくなる手立ての工夫	12/19	12/19	家庭科室
栗屋 祐子	わかった！なるほど！もっと広めたい！につながる授業づくりを目指す	12/19	12/19	
清水 千穂	吃音のある児童が、ことばの教室でも教室でも日常生活でも、自分の思いを伝えることに抵抗が少なく話せるよう、技術面・心理面・環境面等で支え、調整をしていきたい			1年1組の教室
井内久美子	構音障害の理解と指導の進め方について	12/19	12/19	
福島 徹	困る前に支える、連携する。そのための手立てを探していきたい	12/19	12/19	

あくまで“教師の必要感”から実施される協働的な研究の時間  
「授業ミーティング」

週1での研究推進便りの発行による研究推進状況の共有(昨年度のアンケートにより紙幅を半面に精選)

「チーム西小」として同じ方向をむいて個人研修を進めるための「マネジメント研修」(資料の一部です)



### 3. 研究内容 (3) 子どもの生き生きを生み出す個人研究推進

子どもたちが本時・本単元のねらいを自覚・目的意識化するための手立て(評価・子どもの見取りなども含む)

子どもたちが頭フル回転に追究できる題材・教材研究

氏名	大槻 潤	柴 哲也	栗屋 裕子	渡邊 成樹	上柳 智寛	齋竹 優希
担当	6年仁組	4年知組	2年知組	5年知組	5年仁組	算数専科
個人研究テーマ	意欲的に取り組みながら、より追究を深めることができる図工のあり方	みんなでやろう、自分でもやってみようを大切にしたい授業づくり	わかった!なるほど!もっと広めたい!!につながる授業づくりを目指す	子どもと子どもをつなぐ橋わたし	子どもたちが話し出したくなる手立ての工夫	子どもの「やりたい」を実現する授業づくり
授業教科	図工	体育	国語	外国語	道徳	算数(6年)
工夫したいこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>「面白そうだ」「やってみたい」と考える気持ちを持続させ、意欲的に取り組む意識が持続できるように声掛けを行う。</li> <li>相手意識を取り入れながらよりダイナミックに活動が展開されるよう、フィードバックを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎基本としてのドリル学習</li> <li>これならできそう、やってみたいと感じる学習カードづくり</li> <li>自分と友だちをつなぐ動きの言葉</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>進んで友だちに伝えることができるような声かけの工夫</li> <li>自分の考えや思いがあふれたり、まとめたり、友だちに広めたり、みんなにとって分かりやすいワークシート作り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>対話活動の内容を明確にする。</li> <li>自信がない児童や対話活動に消極的な児童への支援。</li> <li>対話活動のポイントを共有したい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の疑問や予想を話し出したくなる導入の工夫</li> <li>友だちと相談したくなる課題の設定</li> <li>さらに考えて話し出したくなる問い返しの工夫</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもがやりたくなる、問題を解きたくなる問題提示の仕方</li> <li>いろいろな考え方を共有する</li> </ul>

## 4. 事前授業 (1) 概要

① 期 日 令和6年7月9日(火) 9:50~16:00

② 場 所 辰野町立辰野西小学校

③ 日 程

1) 宮野先生学校ご到着 9:30

2) 授業公開

2校時 2年知組 国語 9:50~10:35

3校時 5年知組 外国語 10:55~11:15

6年知組 算数 11:20~11:40

4校時 6年仁組 図工 11:50~12:35

休憩・おまよめの時間 12:35~13:55(小会議室)

5校時 4年知組 体育 14:05~14:50

3) ご指導・打合せ 15:00~15:45(小会議室)

4) 宮野先生学校ご出発 16:00

## 4. 事前授業 (2) 公開授業から①

### 大槻 潤教諭 図工「単元名」6年仁組 男子15名 女子18名 計33名

#### (1) 主眼・指導案の概要

自分たちの作品をもっと楽しい作品にするために手直しを行う場面で、作品を見た一年生の感想や仲間の作品を鑑賞し合うことを通して、さらに作品を良くしようと意欲をもち改修したりアイデアを出し合ったりすることができる。

#### (2) 授業の実際

- ・どのグループも目的意識がはっきりしたため、行うべき作業が明確になっていた。
- ・作成したい作品が壮大になりすぎて、時間内に終わらなかったりイメージを具体化できなかったりするグループがあった。

#### (3) 見られた子どもたちの生き生きとした姿

- ・6班「1年生にとって見にくかった。」この意識をもちながら、作品に修正を加えていた。
- ・3班「リスだけじゃなくて、花の道があった方が分かりやすいかな？」1年生の感想から『花のみち』のお話に近づけようと、作品を修正していた。

- ・1班「1年生に『顔がない。』って言われちゃったね。」この感想から、自分たちが作った作品が1年生にも伝わるよう修正を加えていった。

#### (4) 授業者より

- ・1年生の感想を手立てにしたが、想像以上に1年生の感想を大切に、目的意識がはっきりとしていた。
- ・子どもたちの制作したいものと実際の作品との間にある「ジレンマ」。そこを十分な時間、確保させるのは難しい。どうしたらよいか。

#### (5) 参観された先生から

- ・1年生の感想を元に、よりよくする視点が焦点化されていた。目的意識が明確で、そこに併せて作品を修正していた。



### 栗屋 裕子教諭 国語「あったらいいな、こんなもの」2年知組 男子13(1)名 女子10名 計23(1)名

#### (1) 主眼・指導案の概要

「あったらいいな」と思うものを、より詳しく説明するために、3人組で質問をし合う場面で、質問カードや質問・感想のこたばを使う活動を通して、質問に慣れたり、より詳しく考えたりすることができる。

#### (2) 授業の実際

- ・相手を意識して質問に答えていた。・夢中になって語り合っていた。

#### (3) 見られた子どもたちの生き生きとした姿

- ・自分の考えを伝えたいという願いから、説明を文にして絵の横に書く姿。
- ・自分のイメージが伝わるように、短い文でいつもメモを絵の中に書き入れていた姿。
- ・最初は、質問事項をはじから全部、1問1答形式でやっていたが、回を重ねるうちに、少しだが自分たちの考えをプラスしていった姿。

#### (4) 授業者より

- ・相手を意識して質問し合う授業が、今回が初めてだった。質問ワークシートを使うのか、友だちの絵を手掛かりにして質問を考えていくのか。もっと子どもたちに寄り添った授業になるように、考えていきたい。

#### (5) 参観された先生から

- ・言葉とワークシートを使っでの説明で10分とつたが、一度実際にやってみる(ロールプレイングする)ことで、イメージがつかめて、すぐに取りかかれたのではないかと。
- ・初めての質問し合う授業だったので、黒板の掲示により、具体的な行動に移せたようだ。



## 4. 事前授業 (2) 公開授業から②

### 渡邊 成樹教諭 外国語「単元名」 5年知組 男子20名 女子14名 計35名

#### (1) 主眼・指導案の概要

3つの単元を終え、学習のまとめを行う小単元の場面で、自分が伝えたい自分の考えを英語で伝える対話活動を通して、進んでペアを作り、会話のポイントを意識しながら英語で相手に伝えようとするところできる。

#### (2) 授業の実際

- ・児童自身が伝える英語表現を確認していた。
- ・Today's pointを振り返り、言語活動で各児童が大切にしたいめあてを持って臨むことができた児童が多かった。
- ・多くの児童が多くの仲間と会話を行う様子があった。

#### (3) 見られた子どもたちの生き生きとした姿

・Today's pointを意識しながら、自分からコミュニケーションに向かう姿が多くあった。例えば、smileを選んだ児童はあいさつを笑顔で会話をする姿があった。また、reactionでは"Wow!"や"Nice!"、相手の言葉を繰り返すなど具体的な姿として評価できる場面があった。

### 柴 哲也教諭 体育「題材名」 4学年 男子37名 女32子名 計69名

#### (1) 主眼・指導案の概要

より長く、浮いて進もうとする場面で、陸上で動きのポイントを確認したり、友だちとアドバイスをし合ったりすることを通して、け伸びや初歩的な泳ぎをしながら、より長く浮いて進めることができる。

#### (2) 授業の実際

- ・陸上で動きのポイントや見合うポイントの確認では、主に「顔の向き」と「体全体の姿勢」に関して、「床を見る」「あごを引く」「足を先まできっかけ、そろえること」などのポイントが子どもたちから出された。
- ・授業は主に小プールを使用し、プールサイドに巻尺で目盛りを置き、け伸びでどこまで進められたかをめあてとして、学習に取り組んだ。
- ・小プールでの学習の後、大プール内を大回りで回り、深さに体を慣らしながら、さらにけ伸びの動きを確認した。

#### (3) 見られた子どもたちの生き生きとした姿

・パディ同士で交互にチャレンジしながら、互いに記録や動きについて伝え合う姿が見られた。何度も繰り返し練習する中でだんだんと記録を伸ばしていく姿も見られた。

#### (4) 授業者より

- ・各自の記録を伝え合う姿に比べて、動きの内容について伝え合う姿はまだまだ少ない印象。記録を伸ばすために何が必要か、確認した動きのポイントを実際の追究場面でより生かせるようにしたい。
- ・遠くまで進める子、よい記録を出せる子との比較などを通して、よい動きのイメージをつかませたい。(ICTの活用が有効か)

#### (5) 参観された先生から

・「新記録を目指してね!」「〇〇くんいいよ。上手くなったねー」など肯定語のシャワーが子どもの意欲を高めていたのでは。



## 4. 事前授業 (2) 公開授業から③

### 齋竹 優希教諭 算数「単元名」

6年知組(しっかりコース)男子10名 女子9名 計19名

#### (1) 主眼・指導案の概要

主眼:「4種類のアイスから3種類を選ぶ場面で、前時考えた図や表を使いながら組み合わせを考えることを通して、表をかく方法がわかりやすく、選ばないものに注目する見方がより簡単な表し方だと気づくことができる。」

#### (2) 授業の実際

- ・やる中で○をかくだけでなく×に注目してもできると気づき、子どもたちが追究をつづけられた。
- ・良さを追究して選択するよりも自分のやり方にこだわりを持つ子もいた。

#### (3) 見られた子どもたちの生き生きとした姿

- ・個人研究に入るとすぐに自分の考えを書き出す子たち、やる気に満ちていた。
- ・自分の考えをよりわかりやすく説明するために色分けする児童がいた。(←めあての明確化)
- ・自分の考えをノートに書いた後に、友だちの考えがどうなのかを見に行ったり声を書けたりする姿が見られた。
- ・友達の考えをきくことで自分の考えをたしかめたり、さらにちがう考えをきくことで自らの考えを再構築したりしていく姿があった。(同じだ、そうだね、やっぱり、などというつぶやき)
- ・「見ただけでわかりやすい」と友達の説明したやり方に感心を持ちながら聞く姿があった。

#### (4) 授業者より

自分のやり方にこだわる子に対して、否定するのではなく、ひとつの考え方ではあるが、その時間に何を大事にするかがすとんと落ちるような言い方をしたい。今回の場合、いろんな考え方がある中で、①「どう整理して書いていくのが一番落ちや重なりがないか」、②「効率的に」整理する方法に注目していくという2点。

いろんな考え方を認め合い、新たな視点から選択していくことはできたと思いますが、宮野先生からのご助言を受け、今回のような「プロセスが多様な題材」だけでなく「行き着くゴールが多様な題材」から進むという授業の在り方も考えています。算数の中だけで選択していく授業ではなく、子どもたちの性格や生活全体をも思考する問題を考えてみたいと思います。

#### (5) 参観された先生から

- ・プロセスが多様か、行きつくゴールが多様か、「自分の思うように」の発揮場面は、問題の仕組み方も工夫できそう。
- ・求め方に自分らしさを出すのか、求め方の先の答え方に自分らしさを出すのかは扱う問題によっても子どもたちの追究の質が変わっていきそう。共通して大事にしたいのは、算数の学習を軸とした「自分らしさ」の発揮が求められるのではないかと⇒算数の見方・考え方につながるのでは。



## 4. 事前授業 (3)研究について (4)事前授業を受けて

### 研究について

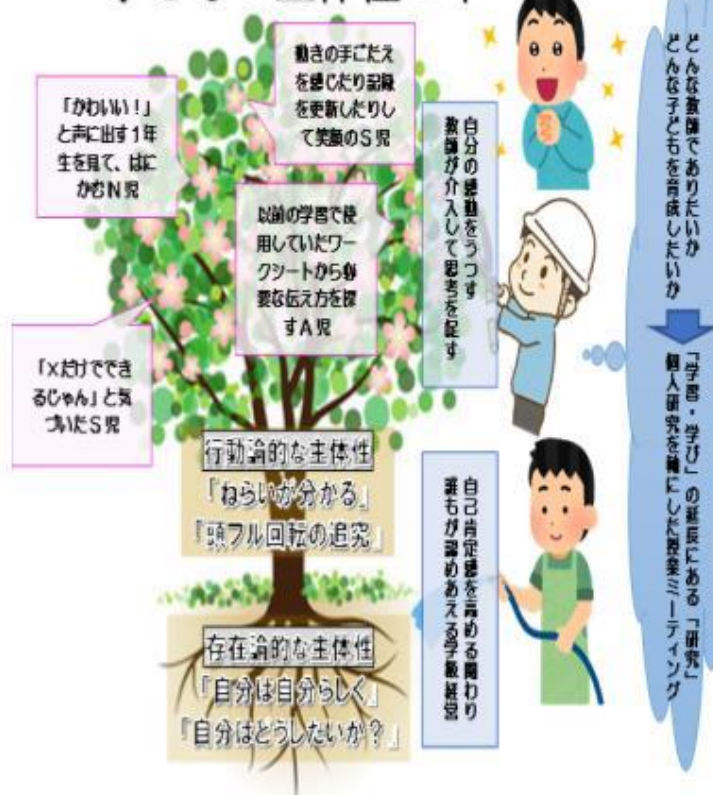
【学校全体の研究の内容について】

- ・教師の主体性⇒子どもの主体性のイメージ...どうもっているか？  
自分が感動したものをやりたい(感動がうつる)  
教師が意図的に介入して子どもの思考を促す  
教師同士のずれがないか...意識を可視化できるようにしたい
- ・能動的と主体的のちがい  
行動論の次元「自分から」⇔能動的 だけでなく  
存在論の次元「自分がどうありたいか」⇔客体的≠独りよがり  
⇒それを教師も発揮できるといい  
⇒自分がどうありたいか...自分はなにを大切にしたいか？
- ・表面的な主体性にならない「あなたはあなたらしくあってよい」「わたしがわたらしくいられること」  
算数の授業のような受け止め  
主体的の根っこに能動的な幹・枝葉が出てくる

【11/22の公開に向けて】

- ・教師の大事にしていることは？子どもの主体的(生き生き)の姿の具体的なイメージは？具体的な子どもたちの姿(エピソードとして)や目指す教師の姿を共有し、つなげていくことからスタートしていいか？
- ・ワークショップで教師が話せるような時間を持ちたい。

### 子どもの主体性の木



### 教師の主体性のガーデニング

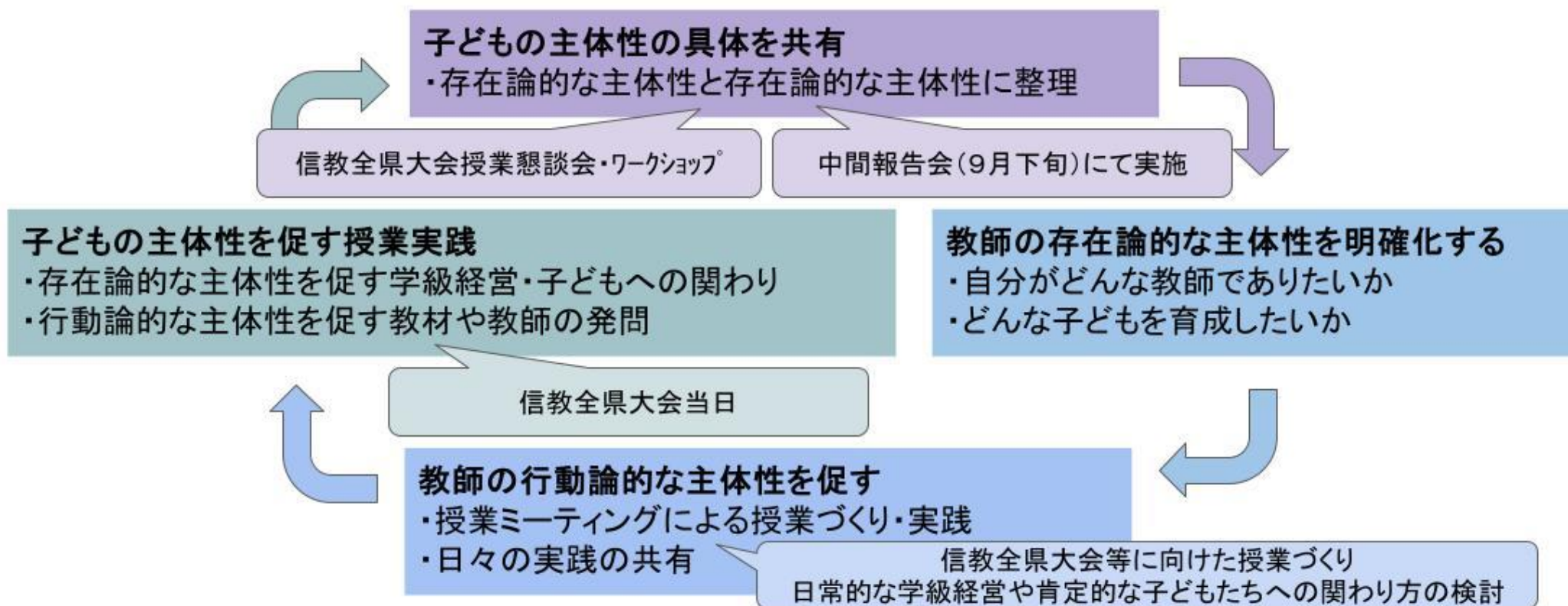
子どもたちの目に見える主体性には、「自分らしく良い」「自分はこうありたい」と思える存在論的な主体性が根っこにあります。その根があるからこそ、ありのままに行動(=行動論的な主体性が発揮)する幹が育ちます。そして、子どもたち一人ひとりの具体的な姿として生き生きとした花を咲かせます。わたしたち教師も同じように、教師としての「自分らしさ」「こうありたい(したい)」といった存在論的な主体性を発揮して、実践(行動論的な主体性を発揮)することで、教師の主体性と子どもの主体性がつながっていくイメージになっています。また目に見えた子どもの主体性の花がまた私たちの原動力となり、教師も子どもと共に成長していくといったイメージです。

## (5) 事前で見られた子どもたちの生き生きとした姿を整理すると...

存在論的な主体性	行動論的な主体性
<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人研究に入るとすぐに自分の考えを書き出す子たち、やる気に満ちていた(算数)</li> <li>・パディ同士で交互にチャレンジしながら、互いに記録や動きについて伝え合う姿(体育)</li> <li>・自分の考えを伝えたいという願いから、説明を文にして絵の横に書く姿(国語)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達の考えをきくことで自分の考えをたしかめたり、さらにちがう考えをきくことで自らの考えを再構築したりしていく姿があった(同じだ、そうだよ、やっぱり、などというつぶやき)(算数)</li> <li>・「リスだけじゃなくて、花の道があった方が分かりやすいかな？」1年生の感想から『花のみち』のお話に近づけようと、作品を修正していた(図工)</li> <li>・最初は、質問事項をはじから全部、1問1答形式でやっていたが、回を重ねるうちに、少しだが自分たちの考えをプラスしていった姿(国語)</li> </ul>

## 5. 事前授業を踏まえての研究の方向

- 子どもの主体性と教師の主体性の関係性について「存在論的な主体性」「行動論的な主体性」に整理することでより明確になった。
- 事前授業で見られた「生き生き」とした(主体的な)姿を整理すると、  
存在論的な主体性は開かれた学級経営や自己肯定感の高まりに関わる姿  
行動論的な主体性は各教科や学習内容に関わる姿(主体的に学習に取り組む姿)  
に大別できることが示唆された。
- 上記2点を踏まえ、子どものそれぞれの主体性の具体的な姿を明確にもち、教師間で共有することで、教師の存在論的な主体性を明確にし、教師の行動的な主体性の発揮につなげ、子どもたちの主体性発揮につなげるサイクルを確立する(以下図参照)。



## 6. 中間報告会における子どもの主体性の共有

### 先生方の感想から

- 能動性、主体性の見方はちょっと難しかったけれど、子供の行動をとらえる一つの見方として取り入れてみようと思います。
- 主体性と能動性という言葉の違いについて考える中で、子どもたちの具体的な姿と結びつけながら意見交換をすることができてよかった。
- ”能動的”にも意義深い主体性があると感じた。理想は自発的な主体なのだと思うが、子どもの純粋な思いを大切にしたいと感じた。
- 毎日の子どもたちとの生活の中に「生き生きの姿」がたくさんあるんだなと、先生方のお話から気が付きました。子どもたちの声をもっと拾えるようにアンテナを高くしていきたいです。
- 能動性と主体性はどんな違いがあるのか、実際の子どもたちの姿は、どちらを主軸として動いているのか判断をするのが難しいなと感じた。自分が能動性だと感じた子どもの行動も、他の人からみれば主体性だととれることもあった。
- 自主性をどうとらえるのか...かんがえてしまいました。普段からの子ども理解も含め、子どもたちを認め、自信をもって取り組める子どもたちに育てることも大切なのかなと思いました。

具体的な子どもの姿で語り合い、整理することにより、

★ **新たな視点(存在論的な主体性と行動論的な主体性)で子どもたちを捉えること**

★ **目指す子どもの姿を明確にした授業づくりや子どもの見取り・評価・支援を大切にすること**

を共有することができた。

**日々の授業  
&  
信教全県大会  
授業づくり  
に活かしていく!**



## 7. 本日の授業について

～子どもと教師の主体性について、6人の授業者の先生方と子どもたちの姿から一緒に考えましょう！～

### (1) 大槻潤教諭(6年図工「単元名」)

#### 個人研究テーマ

「意欲的に取り組みながら、より追究を深めることができる図工学習のあり方」

#### 本時の主眼

自分の好きな詩を抽象画に表す場面で、イメージに合った材料や技法を選んだり、仲間同士で作品の鑑賞をすることを通して、自分が創造した抽象画を制作しようとしている。

特に注目してもらいたい手立てや活動

- ・様々な技法を使うことができるように、学習した技法を掲示しておき参考にしている
- ・仲間同士で鑑賞することで、自分が考えているイメージを高める

#### 本時目指す「生き生き」とした子どもの姿

自分の考えているイメージに合うよう、技法を選択したり仲間の作品を鑑賞したりしながら自分の作品に活かそうとしていく姿

自分の達成度や完成度にこだわりがちな図工の学習において、図工における知識・技能や他者意識(友だちが自分の作品についてどう思っているか?)の視点を盛り込み、自分の作品の高まりを感じながら制作活動に取り組む子どもたちの姿にご期待ください！



## 7. 本日の授業について

～子どもと教師の主体性について、6人の授業者の先生方と子どもたちの姿から一緒に考えましょう！～

### (2) 齋竹優希教諭(6年算数「単元名」)

#### 個人研究テーマ

「子どもの『やりたい』を実現する授業づくり」

#### 本時の主眼

前時までにはデータの整理の仕方を学んできた子どもたちが、駅伝大会の優勝チームは2つの大学のどちらかを予想する場面で、データのちらばりと代表値の両方の視点で改めて見比べ考察し自分の考えを伝え合ったり結果を知ったりすることを通して、根拠をもって説明することができる。

#### 特に注目してもらいたい手立てや活動

- ・日常生活に根ざし、結果から自身の考えをフィードバックできる題材として陸上大会の結果予想を行うこと
- ・個別とグループでの活動を合わせ、まわりの友達に相談しながらの追究の場を設けること
- ・支援が必要な児童に対しては、教師が個別に寄り添い、自分なりの考えをもてるように支える。また、児童の考えを認めながら机間指導を行う
- ・子どもの言葉から【まとめ】を行うこと
- ・その日の学びをふりかえり次時につなげるためのリフレクションカードの活用

#### 本時目指す「生き生き」とした子どもの姿

- ・単元を通しての学びの深まり。当該学習内容を活かしながらデータを考察する姿
- ・優勝チームを知ってどの考え方がよかったのか、どうしたらよかったのかを考え直そうとする姿
- ・代表値とデータのちらばりの両方から根拠をもち予想をする姿
- ・まわりに自分の考えを伝えようとする姿
- ・友達の考えを聞き認める姿

答えが一つでない問いに対して、子どもたち一人ひとりの納得解を出すことにチャレンジします！代表値について学習してきた知識を活かして、どう総合的に思考・判断・表現していくのか...そして、自身の予想をもって結果を知った子どもたちの反応・表情は...？  
一緒に見守りましょう！！



## 7. 本日の授業について

～子どもと教師の主体性について、6人の授業者の先生方と子どもたちの姿から一緒に考えましょう！～

### (3) 渡邊成樹教諭(5年外国語「単元名」)



個人研究テーマ

「子ども同士をつなぐ橋渡し」

本時の主眼

様々な2人ペアを作り、自分のオリジナルタウンを紹介したり、道案内をしたりする場面で、各児童が決めたToday's pointを意識しながら、できる限りの英語を用いた言語活動を楽しむことができる。

特に注目してもらいたい手立てや活動

- ・Today's point(会話ポイント)。
- ・ペア作り2→4→Allの工夫。
- ・授業者とALTの役割分担。担任は全体の把握とペア作り。ALTは児童のなかで一緒に活動。

「別に日本語で話せば伝わるじゃん...」から「もっと英語で話してみたい！」の外国語の授業を目指します！カギは「安心して伝え合える仲間」と「自身をもって話すことができる学習過程」です。生き生きとコミュニケーションを

取り合う子どもたちの姿を**Don't miss it!**

本時目指す「生き生き」とした子どもの姿

- ・会話ポイントを意識した会話活動。
- ・自分の伝えたいことを、英語を使って、伝えようとする姿。

## 7. 本日の授業について

～子どもと教師の主体性について、6人の授業者の先生方と子どもたちの姿から一緒に考えましょう！～

### (4) 上柳智寛教諭(5年道徳「単元名」)



#### 個人研究テーマ

「子どもたちが話し出したくなる手立ての工夫」

#### 本時の主眼

集団の中での自分の役割を果たすために、大切にすべきことは何かを考える場面で、健太はどちらの役割を果たすべきかを考え、心情円を使いながら自己の迷いを友と語り合うことで、自己の判断基準を明確にしていく活動を通して、自分の役割は周囲との関わりの上で成り立ち、そこには責任が伴うことを理解し、これからの集団生活の中で周囲との関わりを大切にしながら自分の役割を果たしていこうとする心情を育てることができる。

#### 特に注目してもらいたい手立てや活動

- ・心情円の活用
- ・どうしてそう思った？/何を大切にして考えたの？という「問い返し」(教師・児童)
- ・ブラッシュアップタイム
- ・振り返りでの4つの観点の設定

「もっと本音で話し合う道徳授業を！」をテーマに、心情の見える化と、道徳における話し合いの視点を明確に授業を行います。お話の登場人物と、自身の経験を踏まえて熱弁し合う子どもたちの姿にご期待ください！

#### 本時目指す「生き生き」とした子どもの姿

- ・心情円で可視化された自分の葛藤をお互いに見合い、判断基準を問い返し合って、お互いの考えを伝え合い、認め合う姿。
- ・対話を通して、自己の考えをブラッシュアップしようとする姿。

## 7. 本日の授業について

～子どもと教師の主体性について、6人の授業者の先生方と子どもたちの姿から一緒に考えましょう！～

### (5) 栗屋裕子教諭(2年国語「お話のさくしゃになろう」)

#### 個人研究テーマ

「わかった！なるほど！もっと広めたい！につながる授業づくりを目指す」



#### 本時の主眼

お話を書くための組み立ての「中」で起こる出来事を、3つの挿絵の中から興味のある絵を選択し、絵からイメージできることを考えた子どもたちが、その挿絵をもとにして、どんな出来事が起こるのか考える場面で、ワークシートを使って、友だちと見合ったり、感想や質問をし合ったりして、お互いの考えのよいところを認め合う活動を通して、お話の「中」の出来事を具体的に考えることができる。

#### 特に注目してもらいたい手立てや活動

- ・お話づくりが構造化されたワークシート
- ・友だちの話を読んだり、聞いたりしやすくするために3人組を作り、活動しやすくする。
- ・いいなと思うところに線を引いて可視化する。
- ・困っている児童には個別に声をかける。

「2年生ならではのアイデアや発想を大切にしながらも、友だちとの関わりから得られる学習のよさも感じて欲しい！」と願う授業実践です。子どもたちの光るアイデアを認め合いながら、唯一無二、「私だけの」作品づくりにのめり込みます！

#### 本時目指す「生き生き」とした子どもの姿

友だちのお話について「いいな」「おもしろいな」「まねしたいな」と思ったところに線を引き、感想や質問を伝え合い、認め合い、お話を広げていこうとする姿

## 7. 本日の授業について

～子どもと教師の主体性について、6人の授業者の先生方と子どもたちの姿から一緒に考えましょう！～

### (6) 柴哲也教諭(4年体育「マット運動～回って・越えて・支えて～」)



#### 個人研究テーマ

「みんなでやろう、自分でもやってみようを大切にした授業づくり」

#### 本時の主眼

ポイントを意識しながら、よりカッコいい倒立姿勢について考えていく場面で、視線や体の伸ばし、体の反りなどを意識して練習したり、友だちに見てほしいポイントを伝えてやってみたりすることを通して、足先まで伸ばして静止した「カッコいい倒立姿勢」をつくることができる。

#### 特に注目してもらいたい手立てや活動

- ・「知組アスレチック」の中で倒立を取り入れていくことで、様々な動きを取り入れ(体をたがやし)ながら倒立の技能を高めていけるようにする。
- ・倒立の練習をする時間と練習の場を確保する。
- ・ポイントを明示した掲示物、カード等を準備。

「技を習得する楽しさ」を味わうマット運動を目指します。「たくさん体を動かしたい」と願う子どもたちの願いも活かしながら、「カッコよくできるようにになりたい！」と思える仕掛けのもと、マットを楽しむ子どもたちの姿をご覧ください！

#### 本時目指す「生き生き」とした子どもの姿

「腰がどの位壁から離れているか見てね」「拳3つ分は離れていたよ」「もっと強く踏み切って足を上げたほうがいいんじゃないかな」「前よりも高く足があがるようになったね」など、「カッコいい倒立姿勢」を目指して友だちと関わりながら追究する姿。

## 図工科学習指導案(ねらい明確 ver)

令和6年11月22日(金) 5時間目	6年仁組 男子15名 女子18名 計33名	授業者 大槻 潤
--------------------	-----------------------	----------

個人研究テーマ

意欲的に取り組みながら、より追究を深めることができる図工学習のあり方

**単元名** 「言葉から想像を広げて」

**本時の位置** : 3時間中第2時

**本時の学習の流れ** (箇条書きで簡単に)

【はじめ】

- ・前時で考えた材料やイメージを確認する。

【中】

- ・自分の選んだ技法を使いながら、詩のイメージに合う抽象画の制作を行う。
- ・途中、仲間同士で鑑賞の時間を取り、自分の考えているイメージに近くなっているか再考する。

【おわり】

- ・自分の思っているイメージに近いかを確認し、次時への制作意欲を高める。

**本時の工夫ポイント!** (箇条書きで簡単に)

- ・様々な技法を使うことができるように、学習した技法を掲示しておく
- ・仲間同士で鑑賞することで、自分が考えているイメージを高める

**本時ねらう「生き生きした姿」「伝え合う姿」「認め合う姿」!**

- ・自分の考えているイメージに合うよう、技法を選択したり仲間の作品を鑑賞したりしながら自分の作品に活かそうとしていく姿

**学校教育目標との関わり** ※特に関係する項目に○

主眼 (本時のねらい)

「自分の好きな詩を抽象画に表す場面で、イメージに合った材料や技法を選んだり、仲間同士で作品の鑑賞をすることを通して、自分が創造した抽象画を制作しようとしている」

追究する子

生き生き

自らの考えを伝え合う認め合う

ねらいが分かる

ふり返り次につなげる

頭フル回転の追究

伝え合う

認め合う

MEMO (座席表や資料添付も可)

# 算数科学習指導案(ねらい明確 ver)

令和6年11月22日(金)5時間目	6年知組 男子10名 女子9名 計19名	授業者 齋竹 優希
-------------------	----------------------	-----------

個人研究テーマ  
子どもの「やりたい!」を実現する授業づくり

**単元名** 「データの整理と活用」  
**本時の位置** : 9時間中第6時

**本時の学習の流れ** (箇条書きで簡単に)

**【はじめ】**

- ・前時までに使ったデータの確認を行う。
- ・データのちらばりと代表値の両方の視点で改めて見比べ考察し、優勝チームの予想を行う。(個人追究)

**【中】**

- ・考えを伝え合う。(共同追究)
- ・優勝チームを知って、どの考え方がよかったのか、どうしたらよかったのかを考え直す。

**【おわり】**

- ・本時のまとめを行う。
- ・次時につなげたいことをリフレクションカードに書く。

**本時の工夫ポイント!** (箇条書きで簡単に)

- ・日常生活に根ざし、結果から自身の考えをフィードバックできる題材として陸上大会の結果予想を行うこと。
- ・個別とグループでの活動を合わせ、まわりの友達に相談しながらの追究の場を設けること。
- ・支援が必要な児童に対しては、教師が個別に寄り添い、自分なりの考えをもてるように支える。また、児童の考えを認めながら机間指導を行う。
- ・子どもの言葉から(まとめ)を行うこと。
- ・その日の学びをふりかえり次時につなげるためのリフレクションカードの活用。

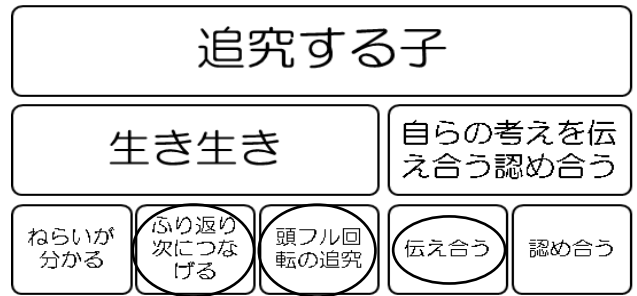
**本時ねらう** 「生き生きした姿」「伝え合う姿」「認め合う姿」!

- ・単元を通しての学びの深まり。当該学習内容を活かしながらデータを考察する姿
- ・優勝チームを知ってどの考え方がよかったのか、どうしたらよかったのかを考え直そうとする姿
- ・代表値とデータのちらばりの両方から根拠をもち予想をする姿
- ・まわりに自分の考えを伝えようとする姿
- ・友達の考えを聞き認める姿

学校教育目標との関わり ※特に関係する項目に○

**主眼** (本時のねらい)

前時までにデータの整理の仕方を学んできた子どもたちが、駅伝大会の優勝チームは2つの大学のどちらかを予想する場面で、データのちらばりと代表値の両方の視点で改めて見比べ考察し自分の考えを伝え合ったり結果を知ったりすることを通して、根拠をもって説明することができる。



MEMO (座席表や資料添付も可)



## 外国語科学習指導案(ねらい明確 ver)

令和6年 11月22日(金) 5時間目	5年知組 男子18(2)名 女子15名 計33(2)名	授業者 渡邊 成樹
------------------------	--------------------------------	--------------

個人研究テーマ  
子ども同士をつなぐ橋渡し

單元名	「Let's go to the zoo.」
本時の位置	: 9時間中第8時
本時の学習の流れ(箇条書きで簡単に)	
【はじめ】	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Greeting &amp; 3 Questions</li> <li>・ Small talk &amp; Let's chant</li> <li>・ Today's goal &amp; Today's point(会話ポイント)</li> </ul>	
【中】	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会話活動(2人ペア)</li> </ul> <p>Hello. What do you have in your town? We have a nice park. Where is the park? Go straight for one block. Turn right. You can see it on your left. Thank you. Bye.</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中間評価(会話ポイントを主な目的として)</li> <li>・ 会話活動続き(2→4→all)と必要に応じた中間評価</li> </ul>	
【おわり】	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ まとめ(正確な英文の確認を目的として)</li> <li>・ ふりかえり(学習シート)</li> </ul>	

↓

本時の工夫ポイント!(箇条書きで簡単に)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Today's point(会話ポイント)。</li> <li>・ ペア作り2→4→Allのさらなる工夫。</li> <li>・ 授業者とALTの役割分担。担任は全体の把握とペア作り。ALTは児童のなかで一緒に活動。</li> </ul>

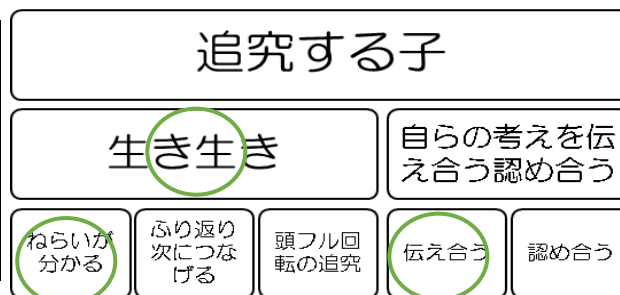
↓

本時ねらう「生き生きした姿」「伝え合う姿」「認め合う姿」!
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会話ポイントを意識した会話活動。</li> <li>・ 自分の伝えたいことを、英語を使って、伝えようとする姿。</li> </ul>

↓

学校教育目標との関わり ※特に関係する項目に○

主眼(本時のねらい)  
「様々な2人ペアを作り、自分のオリジナルタウンを紹介したり、道案内をしたりする場面で、各児童が決めたToday's pointを意識しながら、できる限りの英語を用いた言語活動を楽しむことができる。」



# 特別の教科 道徳学習指導案(ねらい明確 ver)

令和6年11月22日(金)5時間目	5年仁組 男子21名 女子14名 計35名	授業者 上柳智寛
-------------------	-----------------------	----------

個人研究テーマ  
子どもたちが話し出したくなる手立ての工夫

**単元名** 「健太の役割」  
**本時の位置**： 1時間中第1時

**本時の学習の流れ** (箇条書きで簡単に)

**【はじめ】**

- ・ 集団の中でのあなたの役割にはどのようなものがあるだろう？ (日直、クラスの係、委員会)
- ・ 「集団の中での自分の役割を果たすために、大切にすべきことは何だろう？」 (学習問題)

**【中】**

- ・ 設定・内容の確認
- ・ 「健太はどちらの役割を果たすべきだろうか？」 (中心発問)
- ・ 心情円を用いて、自己の判断基準を語り合う。
- ・ 対話的活動の後、考えをブラッシュアップする。

**【おわり】**

- ・ 「集団の中での自分の役割を果たすために、大切にすべきことは何だろう？」
- ・ 4つの観点での振り返り

**本時の工夫ポイント!** (箇条書きで簡単に)

- ・ 心情円の活用
- ・ どうしてそう思った?/何を大切に考えたの?という「問い返し」(教師・児童)
- ・ ブラッシュアップタイム
- ・ 振り返りでの4つの観点の設定

**本時ねらう**「生き生きした姿」「伝え合う姿」「認め合う姿」!

- ・ 心情円で可視化された自分の葛藤をお互いに見合い、判断基準を問い返し合って、お互いの考えを伝え合い、認め合う姿。
- ・ 対話を通して、自己の考えをブラッシュアップしようとする姿。

**学校教育目標との関わり** ※特に関係する項目に○



**主眼** (本時のねらい)

「集団の中での自分の役割を果たすために、大切にすべきことは何かを考える場面で、健太はどちらの役割を果たすべきかを考え、心情円を使いながら自己の迷いを友と語り合うことで、自己の判断基準を明確にしていく活動を通して、自分の役割は周囲との関わりの上で成り立ち、そこには責任が伴うことを理解し、これからの集団生活の中で周囲との関わりを大切にしながら自分の役割を果たしていこうとする心情を育てることができる。」

# 健太の役割 名前

集団の中での自分の役割を果たすために、大切にすべきことは何だろうか？



**はじめの問い**  
集団の中での自分の役割を  
果たすために、大切にすべ  
きことは何だろうか？



**中心の問い**  
健太はどちらの役割を果たす  
べきだろうか？



**ブラッシュアップ**  
健太はどちらの役割を果たす  
べきだろうか？



**まとめの問い**  
集団の中での自分の役割を  
果たすために、大切にすべ  
きことは何だろうか？

# 道徳のふり返り「と・ん・か・ち」

月日	今日の と・ん・か・ち	「とんかち」の内容	感想
	と・ん・か・ち		
	と・ん・か・ち		
	と・ん・か・ち		
	と・ん・か・ち		
	と・ん・か・ち		

と



影響を受けた  
友の考え

ん



「ん？」と気になって  
考えたこと  
内面の問い

か



テーマへの  
「わたし」の考え

ち



誓い  
これから大事に  
していきたいこと

# 国語科学習指導案(ねらい明確 ver)

令和6年11月22日(金)5時間目	2年知組 男子14(1)名 女子10名 計24(1)名	授業者 栗屋裕子
-------------------	-----------------------------	----------

## 個人研究テーマ

わかった！なるほど！もっと広めたい！につながる授業づくりを目指す

【單元名】「お話のさくしゃになろう」

【本時の位置】： 10時間中第3時

【本時の学習の流れ(箇条書きで簡単に)】

### 【はじめ】

- ・前時のふり返りと本時のめあての確認

### 【中】

- ・3人組になり、「中」のお話の内容を見合う。いいなと思ったところに赤線を引き合う。感想や質問をする。
- ・違う3人組でも見合い、線を引いたり、感想や質問をしたりする。
- ・「中」の内容を選ぶ。

### 【おわり】

- ・ふり返し、次時の見通しを持つ。

【本時の工夫ポイント！(箇条書きで簡単に)】

- ・お話づくりが構造化されたワークシート
- ・友だちの話を読んだり、聞いたりしやすくするために3人組を作り、活動しやすくする。
- ・いいなと思うところに線を引いて可視化する。
- ・困っている児童には個別に声をかける。

【本時ねらう「生き生きした姿」「伝え合う姿」「認め合う姿」！】

- ・友だちのお話について「いいな」「おもしろいな」「まねしたいな」と思ったところに線を引き、感想や質問を伝え合い、認め合い、お話を広げていこうとする姿

学校教育目標との関わり ※特に関係する項目に○

## 追究する子

生き生き

自らの考えを伝え合う認め合う



## 主眼(本時のねらい)

お話を書くための組み立ての「中」で起こる出来事を、3つの挿絵の中から興味のある絵を選択し、絵からイメージできることを考えた子どもたちが、その挿絵をもとにして、どんな出来事が起こるのか考える場面で、ワークシートを使って、友だちと見合ったり、感想や質問をし合ったりして、お互いの考えのよいところを認め合う活動を通して、お話の「中」の出来事を具体的に考えることができる

## MEMO(座席表や資料添付も可)

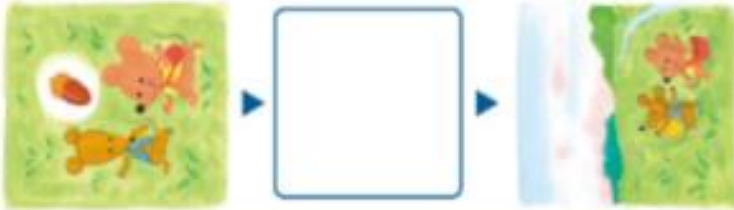
○「お話のさくしゃになろう」本時資料(教科書)は、裏面にあります。



組み立てを考えて、お話を書こう

# お話のさくしやになろう

二年生になって、好きなお話はふえましたか。こんどは、あなたがさくしやになって、お話を書きましょう。



とひめぐさ

二ひきのねずみが、木のみまさがしに出かけます。あなただったら、どんなお話にしますか。



もくろみ

だれが、何をやるか、どんなできごとがおこるかを考え、まともりに分けて お話を書こう。

- 主語と述語に 気をつける。
- 「はじめ」「中」「おわり」のまともりに、お話を組み立てる。

## ① どんなできごとがおこるかを 考えよう。

二ひきは、ちいこには、木のみをもつて降ってくるのが大好きです。さて、二ひきは、どんなねずみで、どんなできごとがおこるのでしょうか。つぎの絵から一つを選んで、考えてもいいですね。



## ○ お話を考えるときは

- (どんなできごとがおこるか)
- 名前
- 好きなことや、とくいなこ
- (どんなできごとがおこるか)
- だれかと出会う
- 何かを見つける
- こまごたことおこる など

本時 (第3時)

## ● たしがめよう

「二ひきとちいこ」——

## ● 見直しをしよう

① 読みよう  
きつめよう

① どんなできごとがおこるかを考える。

② 読み立てよう

② 考えたお話を、まともりに分けて話す。

③ 書こう

③ お話を書く。

④ つなげよう

④ 読み合つて、かんそうをもつたえよう。

## ● くりかえそう

# 体育科学習指導案(ねらい明確 ver)

令和6年11月22日(金) 5時間目	4年知組 男18名 女16名 計34名	授業者 柴 哲也
--------------------	---------------------	----------

個人研究テーマ  
 みんなでやろう、自分でもやってみようを大切にしたい授業づくり

**単元名** 「マット運動～回って・越えて・支えて～」  
**本時の位置** : 7時間中第5時

**本時の学習の流れ** (箇条書きで簡単に)

【はじめ】 ○場や用具を準備し、準備運動を行う。  
 ○本時の課題を全体で確認する。「知組アスレチックの中でかっこいい倒立を決めよう！」

【中】 ○課題に対する練習をする。(体の伸ばし、反り、足の振り上げの勢いなどの練習の場)  
 ・よい動きや友だちとアドバイスし合える姿を積極的に褒めていく。  
 ○本時の課題に対する振り返りをする。  
 ○「知組アスレチック」に挑戦！

【おわり】 ○本時を振り返り、片づけをする。

**本時の工夫ポイント!** (箇条書きで簡単に)

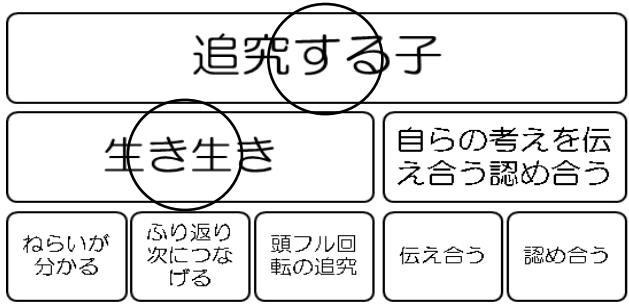
- ・「知組アスレチック」の中で倒立を取り入れていくことで、様々な動きを取り入れ(体をたがやし)ながら倒立の技能を高めていけるようにする。
- ・倒立の練習をする時間と練習の場を確保する。
- ・ポイントを明示した掲示物、カード等を準備。

**本時ねらう** 「生き生きした姿」「伝え合う姿」「認め合う姿」!

- ・腰がどの位壁から離れているか見てね・拳3つ分は離れていたよ・もっと強く踏み切って足を上げたほうがいいんじゃないかな。・前よりも高く足があがるようになったね。

学校教育目標との関わり ※特に関係する項目に○

**主眼** (本時のねらい)  
 ポイントを意識しながら、よりかっこいい倒立姿勢について考えていく場面で、視線や体の伸ばし、体の反りなどを意識して練習したり、友だちに見てほしいポイントを伝えてやってみたりすることを通して、足先まで伸ばして静止した「かっこいい倒立姿勢」をつくることができる。



MEMO (座席表や資料添付も可)